

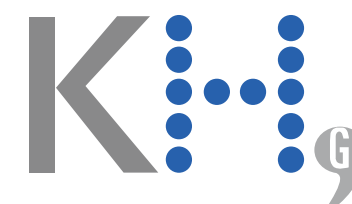
泌尿器科

平成25年度事業計画
社会医療法人と責任
社会貢献・沿革

第3回 川島病院 市民公開講座
県下の医師不足地域への診療支援
へき地医療支援

2012-2013 Photo Report
第4回 地域連携懇親会

災害対策委員会 **非常用設備の説明会**
第11回震災対策会議



Kind 優しい

Honest 誠実な

Growing 伸びゆく

社会医療法人 川島会

●川島病院

●鴨島川島クリニック ●鳴門川島クリニック ●脇町川島クリニック

社会福祉法人 飛鳥

●ケアハウス ●在宅介護支援センター ●デイサービスセンター ●ヘルパーステーション

川島ホスピタルグループ広報誌 第11号 2013年9月発行 発行／川島ホスピタルグループ

〒770-8548 徳島市北佐古一番町1-39 TEL.088-631-0110 FAX.088-631-5500

企画・編集／川島ホスピタルグループ広報委員会 川島ホスピタルグループホームページ <http://www.khg.or.jp> デザイン・印刷・製本／太陽高速印刷(有)



表紙写真は南内町演舞場の総踊り。阿波おどり期間中毎日、二部の最後に踊られています。この写真は当院が踊り指南をお願いしている娯茶平です。先頭は岡連長です。
(撮影／川内 秀喜)

Contents

Kawashima Hospital Group Magazine

2 特集 泌尿器科

泌尿器科部長 西谷 真明

泌尿器科医長 横田 成司

泌尿器科医員 末永 武寛

泌尿器科医員 室宮 泰人

12 事業計画

13 社会医療法人と責任

14 社会貢献

15 沿革

16 第3回 川島病院 市民公開講座

24 県下の医師不足地域への診療支援 宮 恵子 内科部長

25 へき地医療支援 島 健二 名誉院長

26 BEST SHOT 今年の一枚 写真・川島 周 理事長

2012-2013

27 Photo Report

健康・福祉フェスタ・慰安旅行・とくしまマラソン・阿波踊り・BBQパーティ・地域連携懇親会

38 Staff introduction 職員紹介
理学療法士 宮本 智彦さん

40 非常用設備の説明会 ～災害対策委員会より～

43 第11回震災対策会議

44 この子 誰のコ? KHG職員のペットたち

46 主たる行事

47 2012年資料編



K ind 優しい

H onest 誠実な

G rowing 伸びゆく

私たちの病院の理念

- 1 患者さんをはじめ、関係する方々との信頼関係を築きます。
- 2 病院経営の質の向上に努め、良質で効率的かつ組織的な医療を提供します。
- 3 地域社会の健康および福祉の増進に貢献することを使命とします。

私たちの病院の基本方針

私たちの病院は

- 1 患者さんや家族の方々との信頼関係に基づいた、患者さんの立場に立った医療を提供します。
- 2 公正な医療の提供と医療の質の向上に努めます。
- 3 腎泌尿器疾患と糖尿病の診断と治療に総合的に携わる病院として地域の皆様に信頼していただけるよう、日々全力を傾注します。
- 4 患者さんに安心して医療を受けていただけるような良質な医療環境医療体制を構築します。
- 5 地域社会の一員として、また社会的存在として行動し、その責任を果たします。

泌尿器科

川島病院泌尿器科は常勤医師5名（香川大学および東京女子医大からのローテーション研修含む）と非常勤医師2名で診療にあたり、県内一のスタッフであると自負しています。

腎臓、尿管、膀胱、尿道などの尿路や、前立腺、精巣、陰茎などの男性生殖器、および副腎などの後腹膜腔の臓器に発生した疾患をとりあつかう診療科です。排尿障害、尿路結石症、尿路感染症、悪性腫瘍、性行為感染症、男性機能障害、内分泌障害など診療分野は多岐にわたり、高度な専門性と医療技術が求められます。

このため当院では体に負担の少ない検査や先進手術を導入し、また専門的医療を行い得る他の施設とも十分な連携を結んでいます。

聞き手 広報委員長／日下 まき

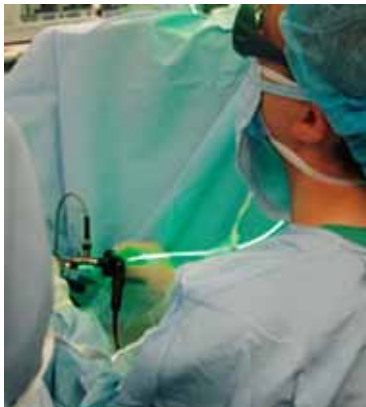
Narushi Yokota

Masaaki
Nishitani

DEPARTMENT
OF UROLOGY



レーザー発生装置



光選択的前立腺蒸散術(PVP)の手術風景

泌尿器科の今

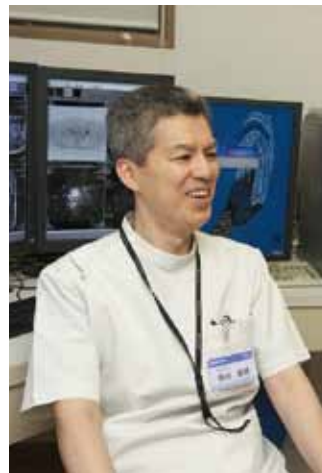
—泌尿器科の今を聞いてみました
今、是非とも知っていただきたい治療としてはグリーンライトレーザーによる光選択的前立腺蒸散術(PVP)です。
私は排尿障害の治療が専門なのですが、その原因であることが多い前立腺肥大症に対する最新のレーザー治療です。
—前立腺肥大症の治療といえば標準的な手術療法は経尿道的な前立腺切除術(TURP)ですね。
はい、従来は内視鏡を尿道へ挿入し、肥大した前立腺を電気メスで切除し、尿道を広げる方法でした。効果は十分ですが、術中術後の出血や灌流液に伴う気分不良をきたすことが時々あり、術

後の尿道バルーン留置期間が3〜5日間、入院期間も1週間程度要していました。
—それにくらべてPVPは治療成績に遜色がなく、患者さんへの負担が少ないということですか？
はい、出血や痛みが少ない・体(心臓など)への負担が軽い・尿道カテーテルの留置期間が短くてすむ・入院期間が4日程度である。などのメリットがあります。米国ではすでにPVPがTURPと同程度で選択されるようになっていました。日本でも2011年7月に保険適応となりました。当院でも2012年8月にAMS社製GreenLight®HPSレーザーシステムが導入され、これまでに18例を経験しました。
—レーザーで蒸散させるということでは、やかれた部分の前立腺はあとかたもなく無くなってしまうということですね。
そうです。ですので、切除標本の病理学的診断を行うことができません。そのため当院ではPSA(前立腺腫瘍マーカー)と単純MRIで前立腺がんの可能性を除外してから、行う方法をとっています。現時点(2013年7月初旬)では国内で約40台が稼働していますが、これから増えていくと思います。
—四国で受けられる施設は川島病院だけと聞きましたか？
はい、そうです。

—前立腺肥大症は中年以上の男性におきやすい病気で、尿のきれが悪い、出にくい、頻尿などつらい症状と聞いていますが、内服治療で改善することもありますね。
そうですね、ただ長期間の内服継続が必要となつてきます。徐々に進行し、薬の効果が不十分となってきた場合や高度の肥大病症の場合は、手術が必要になります。長年、内服治療をつづけておられる方、そのような患者さんを診ておられる内科系の医療機関の先生方からも、是非相談をお受けしたいです。
—尿路結石の治療も多いですね。結石に対する手術は最近変化してきたと聞きました。
はい、尿路結石症に対してはこれまで低侵襲治療として体外衝撃波碎石術(ESWL)が選択されることが多かったのですが、最近では経尿道的尿路結石除去術(TUL)が選択される割合が増えています。
—TULは麻酔も必要でESWLより体の負担が大きいように思われるのですが、なぜ増えてきているのでしょうか？
ESWLは体外から結石を破碎する治療で確かに手術時の体への負担は少ないのですが、破碎困難な結石が存在し、結石が破碎された場合でも必ずしも排石されないこともあります。また長期的にみた場合、特に腎結石では

ESWLをくりかえすことによる腎障害も問題となります。
そこで高性能の尿管鏡や周辺機器の開発に伴って、新しい手技をとり入れたTULが注目され急速に普及してきたのです。特に、軟性尿管鏡を用いたTULはFlexible-TULとよばれますが、この手技が確立されたことにより、尿管だけでなく腎結石まで治療可能となりました。TULでは結石を破碎するだけでなく、摘出することも可能であり、近年目覚ましい治療成績の進歩がみられております。当院でも2009年よりf・TULを導入しており、これまでに51件手術をおこなっております。
—そのほかにも泌尿器科としてかなり設備が充実してきたと思われませんか？
そうですね、先進技術を取り入れるという明確な目標があり、ここ数年で泌尿器科関連の設備がかなりそろってきました。
主なものをあげる。①GreenLightHPSレーザーシステム、②体外衝撃波結石破碎装置、③軟性膀胱鏡、④軟性腎盂尿管鏡、⑤硬性膀胱鏡、⑥硬性尿管鏡、⑦泌尿器科体腔鏡手術器具、⑧生理食塩水で安全に行える経尿道的内視鏡手術器具(TURIS)、⑨ホルミウムYAGレーザー装置、⑩ソクラスト碎石装置、などです。
—ありがたいございました。





泌尿器科部長
西谷 真明

専門：排尿障害
所属学会・資格

・日本泌尿器学会指導医・専門医
・日本透析医学会専門医

平成2年3月 徳島大学医学部医学科卒業
平成2年 4月～ 徳島大学医学部附属病院
平成2年12月～ 小松島赤十字病院
平成4年 4月～ 修賢会藤崎病院
平成7年 4月～ 高知赤十字病院
平成9年 5月～ 徳島大学医学部附属病院
平成14年4月～ 徳島大学医学部附属病院泌尿器科講師
平成16年7月～ 徳島大学大学院ヘルスケア・サイエンス研究部助教授
平成18年12月～ 健康保険鳴門病院泌尿器科部長
平成20年10月～ 川島会川島病院泌尿器科部長



好きなものや趣味は？

先生は映画やドラマはご覧になりますか？
えっ？えーと、そういうのはあんまり……
—好きな女優や俳優さんっていらっしゃらない？
うーん思いつかない
—そうですか？
リハビリの宮本君はアンジェリーナ・ジョリーが好きなんですって！（注：p39）
……だれですか？
—えっ？……誰って……（アンジェリーナ知らない？）
—音楽鑑賞がお好きとお聞きしていますが

はい、テレビでも音楽番組は結構見ています。J-POPも好きでよく聞きますが、クラシックではラヴェルが好きです。
そういう娘につきあってアニメの（だめカンタービレ）は全部見てしまいました。
—ラヴェルのピアノ協奏曲がでていますね。私はマンガと実写版で見ました。では二曲かきましょう。
あと……ああそうそう、アルゲリッチ！（急に顔がいきいき）若いころはアルゲリッチが好きでした。あの人はすごいと思ってました。
—マルタ・アルゲリッチですね。
（亡き王女のためのパヴァーヌ：ラヴェル作曲を聴きながら）



晩年、自動車事故にあつて記憶障害が進行してしまつた際、ラヴェルがこの曲を聴いて「この曲はとてもすばらしい、だれが書いたのだろう」といったという逸話があるそうです。
—キレイな曲ですね。今日はありがとうございます。

手術の正確性を高めるために

—座右の銘や好きな言葉・何かありますか？
継続は力なりです。

—川島病院の泌尿器科のあり方としてこれだけはゆずれないと思うこだわりのようなもの、あるいは行く末に対する希望についてお聞かせください。

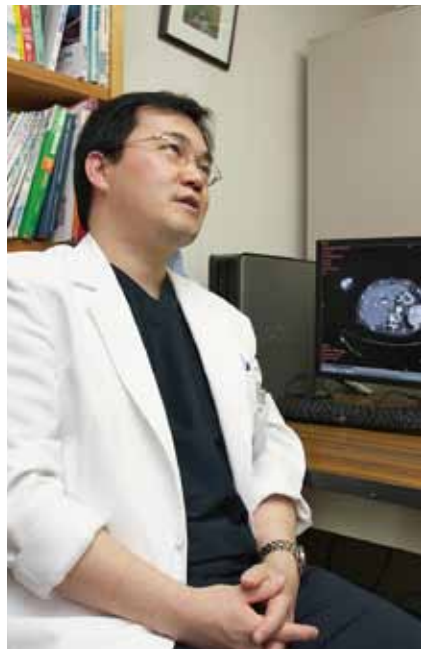
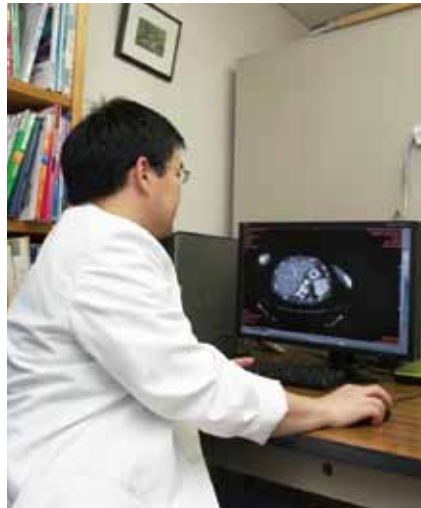
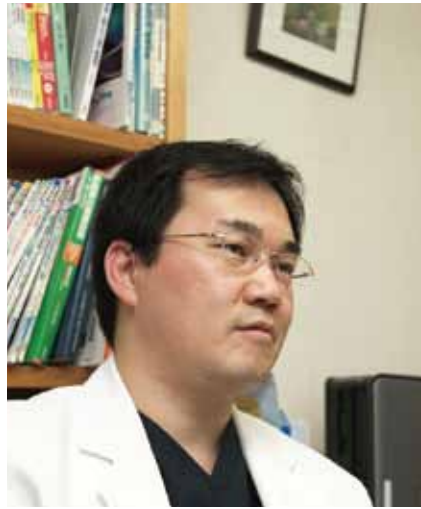
自分が受けたい、あるいは、家族にうけさせたい医療を常に提供したいと思っております。そうすることで、これまで医者としてそだてていただいた社会に少しでも貢献できればと考えます。

—検査や手技、手術などは、違う相手に対し、同じ道筋でなんどもなんども繰り返すことでうまくなっていく以上、やり方はないといった「正確」に近づいていくもののように感じているのですが、若い先生に教える際、先生が心がけるいらつしやることはおありでしょうか？



手術は繰り返しることにより上達しますが、上達の速度を上げ、手術の正確性を高めるためには、何よりも目の前の個々の患者さんに、しっかりと向き合っていくことが大切であると思っています。特に、術前の準備がきわめて重要です。それをきつちりを行うことが自分の技量を高めるとともに患者さんの大きな利益に繋がります。そのために、私自身が研修医のころに先輩医師から教わったのですが、術前の準備は必ず患者さんの顔を思い出しながら行うように心がけています。
—日々、手術が行われており、一定の合格ラインを超えるレベルを保つていくために、何かご自分なりの秘訣というか、常にご自分に課しておられることなど、よろしければ、教えてください。
手術前には、画像診断などの情報をもとにして、患者さんごとに手術中のイメージを作っておくようにしています。
—ありがとうございます。
広報誌は一般の方々、他施設にむけた広報を目的としています。もう一つの役割として、私は川島会の職員へむけたエールでありたいと思っています。そういう意味でも、もしなにかありましたら？
患者さんへの病院を選んでよかったといってもらえるような医療をみなさんと提供していきたいです。





「この場をお借りしまして、田邊教授、中澤教授をはじめ教室の先生方には、厚くお礼を申し上げます。」

—東京女子医大泌尿器科学教室で、7年おられたわけですが、日本有数の施設で経験を積まれていかがでしたか？—
まず第に、手術件数を含めまして通常では経験できなかったくさんの患者さんを診させていただけたことは一生の財産になると思っています。
また、臨床面だけではなく、目的意識の高い集団の中で研鑽を積み上げていただけたことにより、気持ちの上ではわかっているけれども、明確な言葉にしたことがなかった今後の道というものを、固めることができたと思います。そういった面でも大変貴重な経験となりました。

腹腔鏡下手術のメリット

—具体的にどのようなお仕事をされていたのですか。
一般泌尿器科の手術、腹腔鏡下手術、腎移植などです。
—腹腔鏡下手術では、どのようなことをされましたか？
泌尿器科領域の腹腔鏡下手術は1990年代後半より急速に発展し、現在では副腎や腎臓、前立腺などの数多くの泌尿器科疾患に対し開腹術にかわって行われるようになっています。特に、東京女子医大では、腹腔鏡下での癌の手術を数多く経験することができました。腹腔鏡下手術の最大のメリットは傷が小さくてすみ、筋肉をほとんど傷めずに手術ができることです。また、出血も開腹手術より少なくてすみやす。そのため、以前の開腹術と比べ日常

生活への復帰が格段に早く、また、プロスポーツ選手でも復帰が可能なくらいまで回復します。当院では透析患者さんの腎臓摘出術を行う機会が多いのですが、やはり、腹腔鏡手術を選択することにより、皆さん速やかに回復されております。
—腹腔鏡下手術には開腹手術とは異なる技術も必要とお聞きしました。
はい、解剖の知識など、開腹手術と重なる部分もありますが、内視鏡や鉗子の取り扱いには、特別な知識や技術が必要となります。東京女子医大では、それらを豊富な症例の中で学ぶことができました。また、本院および分院でお世話になり複数のエキスパートから学ぶ機会が得られたことも自分の手術を確立していく上で大変ありがたかったです。

—最近ロボット手術が話題になっていますが。
ロボット手術は腹腔鏡手術と同様に内視鏡下で行われるもので、患者さんに負担の少ない手術方法です。さらに、ロボット技術を使うことにより、より精密で複雑な鉗子の動きが内視鏡下で可能となり、前立腺癌の手術ではその精密さは開腹手術に勝るとも言われています。今後は泌尿器科医としてこれまで培った経験の上に、ロボット手術にも挑戦していきたいと思っています。
—川島病院に帰ってこれたのがですか。
泌尿器科医としてはもちろんのこと、腎不全外科医としても尽力していきたいと考えています。



泌尿器科医長

横田 成司

THE STAFF OF THE UROLOGY DEPARTMENT

泌尿器科 常勤医師紹介



室宮 泰人 医員 (31歳)
(むろみや やすと)
帝京大学 平成22年卒
趣味 サックス演奏
★徳島はどこにかくお魚がおいしいです。
“鯛が好き”



末永 武寛 医員 (32歳)
(すえなが たけひろ)
日本泌尿器科学会専門医
出身：宮崎県都城市
香川大学 平成17年卒
2013年8月より働かせていただいております。まだまだ慣れていませんが、何かあればお声かけいただければうれしいです。
★学生時代は野球をやっていました。守備はファースト、食べ物に好き嫌いなし！今夏の甲子園も燃えました。



土田 健司 副院長 (49歳)
(つちだ けんじ)
日本透析医学会指導医・専門医
日本泌尿器科学会指導医・専門医
主に腎不全外科・移植、透析をやっています。
好きなものは南の島！海が好き♡



(写真、両脇は放射線技師・結石破砕室にて)



泌尿器科医長
横田 成司

専門：泌尿器科、腎不全外科
資格：泌尿器科専門医、透析専門医、がん治療認定医

平成12年 徳島大学卒業
産婦人科学教室入局後、
平成17年4月 泌尿器科学教室へ転科
平成20年4月～平成21年3月 川島病院勤務
平成17年4月～平成24年3月 東京女子医科大学 泌尿器科学教室勤務
平成25年4月～ 川島病院勤務

「腎不全外科の役割」といって、まず腎不全の知識があつて、腎移植や透析治療に必要なブラッドアクセス手術、腹膜透析導入時の外科的手技を行うことですか？

はい、そうです。腎移植では東京女子医大での経験を生かすことができると思います。また、ブラッドアクセス、簡単にシャントといったりもしていますが、血液透析の命綱ですから、まずは一生使えるものを作る、残念ながら使えなくなった場合には、次のアクセスを適切に作り直す、その技術を極めていきたいです。

「以前、水口院長先生が、「アクセス手術は、血管と血管とつなぐことだけど、その前のデザインが大事」とおっしゃっていたのを聞いたことがあります。

そうですね、血管の走行はひとりひとりちがうので、最適な長持ちするデザインを考える、あとのことも考えながら。

「あとのことというのは、次の手も考えておくということですか？」

「その血管は何かのときのために残しておかないと次の手がなくなる」とか、カンファレンスであれこれ検討されていますね。あきらめないでやる。それができる技術を培っていきたいです。

「話が少しそれるかもしれませんが、腎臓病というのは広くて深い世界だなあ

腎不全外科の役割

と感じているのですが。

ええ、ぼくも本当に、これからも勉強していかなければならないことがいっぱいあります。こうやって話しながらも、あれもこれもと頭に浮かびます…。

「腎不全外科ということは、透析患者さんと長期にわたってお付き合いをしていくということになりますね。」

はい、透析期間が長期になると、アクセストラブル以外の、さまざまな合併症もおこってきますし。

「一般病院との連携が大事ですね。」

はい、連携というのはお互いの信頼関係があつてこそのもので、川島病院でできることは積極的に引き受けていく、という姿勢が大事だと思います。長期透析患者さんは様々な合併症を克服しながら、透析によって何年も生き続けてきたという確固たる自信のある方がたくさんいらっしゃるし、ぼくの医師としての経験年数よりも長い透析歴を持つておられるわけです。

そういう方々と向きあつていうことが、僕の使命かなあと思ったりします。

「患者さんから教わることもありますか？」

はい、ありますねえ、教えられつつ、理論的に妥当で、個々に適切な支援をする謙虚な姿勢といいますか…それを僕の芯にしたいですね。

「今までも、これからも、川島は合併症をあきらめない」ということですね。そ

好きなものや趣味は？

「座右の銘は困難は分割せよ(デカルトの方法序説より)とありました。」

この言葉を最初に認識したのは高校生ぐらいだったでしょうか。現代社会が倫理だったかの授業で知ったように思います。

「わたしは知らなかったので、調べたんですが、検討しようとする難問をよりよく理解するために、多数の小部分に分割することがありました。分割していかなる小部分にもひとつひとつむきあつてゆけば全体がわかる、ということでしょうか？」

当時は理解できていなかったと思います。実際高校時代に聞いたことは奥深さが、今になって実感として確認できたということかなあ？

幼少時、父を亡くして生活が変わったことや、受験の失敗や、大げさかもしれないですがそう

「人生の紆余曲折を振り返ったとき、人生におきたひとつひとつ、勉強しても人間関係にしても、もっていかねえ向きの合点はないけなかつたの」という反省があつて…

「しみじみその言葉をかみしめているという？はい、これからも自分にいきかせながら。」

「何か趣味のようなものはおありですか？食べ歩きならぬ飲み歩き？すくく飲むの好きなんです。」

楽しみは子供と遊ぶ事、それから子供と風呂に入る事です。

子供が成人して酒を飲んでみたいですね。どんな感じだろう？

「デカルト先生とも飲んでみたいですか？…楽しくなさそうな気がする…。」

「しばらく高校時代の若くておろかな過去を互いに語りあう」

「川島病院に帰つてから4か月がすぎましたが、病院のスタッフに伝えたい思いというの

「何かおありでしたら、お聞かせ下さい。」

病院というところは職場であり、仲間であるけれど友人というのはちがう。けれど友人とはまたちがう強い結びつきが生まれているはず。だから医師間、異なる職種間でも多くを言い合つていくことが大事なのじゃないかと思つています。

言い合うことでぐちゃぐちゃしたりするだろうし。うれしかったり、むかついたりしながら医師・職員同士が成長していったらベターだと思います。自分の中にあるものだけで生きていたら、同じところをぐるぐる回つて成長が止まるような気がしますね。

「人間関係の不安定さに耐えるということでしょうか？」

縁あつて川島病院に勤めているのですから、人間関係をあきらめず、楽しむことが大切なのではないでしょうか。

「いろいろ、お話をありがとうございました。」

れをかなえる人と技術と設備を保つていくのは、長期的なプランが必要ですね。

川島会では腎臓科、循環器科、泌尿器科、糖尿病科、皮膚科、歯科の専門医がチームとなつて患者さんを診ており、他科との垣根がありません。さらに、消化器外科やカウセンリグ、眼科、整形外科

科なども非常勤医師より応援を受けています。

また、合併症を少なくする、より良い透析条件や透析液の開発といった面からのアプローチもあり、そういう研究も川島病院では行われています。

「心強いですね、お話ありがとうございました。」



社会医療法人 と 責任



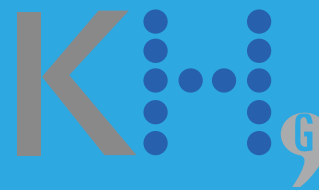
平成18年6月に医療法が改正され、新たな医療法人類型として社会医療法人制度が創設されました。社会医療法人とは、救急医療やへき地医療、さらには周産期、小児医療など地域で特に必要な医療の提供を担う公益性の高い医療法人です。このような医療はこれまで自治体病院が中心に担ってきましたが、民間の病院に積極的に参加してもらい、良質かつ適切な医療を効率的に提供することを目的に設けられました。

社会医療法人の認定を受けるには、救急医療やへき地医療等の実績及び透明性のある公的な運営など数々の厳しい要件を満たし、都道府県知事の認定を受けなければなりません。

今回、当法人はへき地診療所への医師派遣や健全な法人運営が評価され、平成25年1月1日付けで徳島県知事から認定を受け、県内で2番目の社会医療法人になりました。

平成25年3月現在において、全国の医療法人数は48,820法人、そのうち社会医療法人は191法人、徳島県ではわずか2法人です。それだけ社会医療法人の認定条件が厳しくかつ社会的責任が大きい医療法人であるといえます。

平成25年度 川島ホスピタルグループ 事業計画



1へき地医療の支援

- ①引き続きへき地診療所に医師派遣を行い、へき地における医師確保に貢献する。

2診療内容の充実

- ①免震構造を持つ新クリニックを川島病院職員駐車場跡に年度内に建設する。
- ②対外関係の強化、市民公開講座をはじめとする広報活動、各クリニックでの外来診療強化による診療圏の拡大などにより外来診療を強化する。
- ③各職種が参加する認知症対策委員会を設置し認知症対策の推進に取り組むとともに、認知症関連の学会、研修会への積極的参加を推奨する。
- ④各分野で、より専門性の高い診療を提供する。

3透析患者の確保

- ①脇町川島クリニックの医療スタッフを充実させ、通院を希望する透析患者の受け入れを図る。
- ②通院支援を強化し、外来透析患者の利便性の向上に努める。
- ③徳島県の腎疾患対策事業に協力することにより、腎臓病外来の充実に務める。

4川島病院の構造設備の改装

- ①保有病床(123床)の有効利用と今後10年間の診療の質・量の変化に対応できる構造設備を検討し、26年度の病院改装を目指す。

5介護タクシーの運営

- ①病院直営で運営している介護タクシー事業の効率的な運営のあり方を検討する。

6院内不当要求防止対策の推進

- ①院内暴力等を防止するための体制準備
- ②KHGクレーム対策マニュアルの周知徹底
- ③不当要求行為の防止に関する研修会の実施

7歯科診療による患者ケアの充実化

- ①全身疾患を有する患者の歯科治療
- ②入院患者の口腔ケアと摂食嚥下障害への対応

8災害対策活動、医療事故防止活動の積極的推進

- ①大規模震災を想定しての定期的対応訓練の実行と災害に備えての準備の実施
- ②各種手順やマニュアルの周知徹底、実行の推進
- ③対策月間設定等による全職員に対する啓発、教育の強化と充実

9教育・研究活動の強化と支援

- ①新入職員、中堅職員、途中入職職員への教育内容の充実
- ②KHGと関連のある分野の全国規模の学会、研究会への積極的参加の奨励と支援
- ③KHGと関連のある分野の研修会、講演会、セミナーへの参加の奨励
- ④院内学習会の定期的実施と部署ごとの勉

強化、抄読会の頻回実施

- ⑤部署目標、委員会目標の中間及び年度末フォローによる達成度評価と改善のための指導の実施
- ⑥部署、委員会における研究および活動テーマ発表会の実施
- ⑦業務上有用な資格の積極的取得の推進と支援の実施

10地域社会との交流や関連施設との連携の強化

- ①第16回健康福祉フェスタの実施と内容の一層の充実
- ②広報誌の継続発行と内容の一層の充実
- ③ホームページの内容充実とタイムリーな更新
- ④関連病院間や病診連携会議への積極的な参加

11働き甲斐のある職場環境の確保

- ①チーム医療の推進
- ②業務上の成果、努力の人事考課への正当な反映
- ③職員の職場労働安全衛生対策の推進
- ④職員に対する福利厚生の充実

地域社会の一員として 社会的存在として行動しその責任を果たします

沿革

昭和38年	10月 医療法人 川島会設立	平成11年	11月 鳴門川島クリニック開院
昭和51年	1月 川島病院 透析室開設(徳島市佐古3番町4の7) 4月 腎臓に関する医療機関指定 5月 身体障害者福祉法19条の2の規定による更生医療機関に指定	平成12年	4月 院内託児所開所
昭和57年	4月 医療法人川島会 川島クリニック設立(麻植郡鴨島町敷地)	平成13年	2月 鴨島川島クリニック新築移転
昭和60年	8月 現在地へ移転(徳島市佐古1番町1の39) 9月 自己腹膜灌流指導管理施設基準承認 10月 原子爆弾被爆者医療機関指定 11月 CAPD療法開始	平成14年	1月 日本医療機能評価機構 認定 6月 1病棟分割 1病棟(20床) 2病棟(46床) 川島循環器クリニック 更生医療承認 10月 入院基本料 2.5:1看護師率70%以上
昭和61年	8月 県下で初めての腎臓移植手術施行	平成16年	あすか訪問看護ステーション開設
昭和63年	2月 第2期工事完成 6月 全身用第3世代X線CT導入 10月 結石破砕装置導入 12月 体外衝撃波腎 尿管結石破砕術施設基準承認	平成17年	あすか訪問看護ステーション廃止 5月 川島病院 増築棟完成(2号館) 川島病院 リハビリテーション科増設 10月 川島循環器クリニック リハビリテーション科廃止 川島循環器クリニック 透析室38床開設 鴨島川島クリニック 全自動導入(透析装置)
平成3年	1月 外科新設 3月 徳島県選挙管理委員会より不在者投票施設指定 5月 第3期工事完成 6月 整形外科診療開始 10月 眼科診療開始 精神科カウンセリング開始	平成18年	川島病院 病棟改築 10月 入院基本(区分) 10:1 承認 川島病院 財団法人医療機能評価機構 再認定 指定自立支援医療機関指定申請(更生医療) 川島病院 川島循環器クリニック 鴨島川島クリニック 鳴門川島クリニック
平成4年	4月 夜間透析開始(月・水・金のみ3シフト制) 5月 体外衝撃波胆石破砕術施設基準承認 7月 基準看護 特1類(1)承認許可	平成19年	3月 川島病院 売店・喫茶 四国銀行ATM 開設 12月 川島病院 病床数改訂 1病棟(29床) 2病棟(37床)
平成6年	1月 基準看護 特2類 承認許可 4月 全身用高速螺旋回転式X線CT導入 泌尿器科専門外来診療開始 5月 火・木・土 2シフト制開始 7月 医療法人 川島会 川島クリニックから医療法人川島クリニックに分離 業務、カルテ、記録、基準看護等各種委員会発足	平成20年	4月 川島病院 歯科、歯科口腔外科開設
平成7年	1月 適温配膳車購入 4月 社会福祉法人「飛鳥」設立 6月 糖尿病外来診療開始 7月 糖尿病教室開始 8月 全自動分包機導入 10月 糖尿病学習入院開始 11月 コンピュータのオンライン化開始 12月 薬事委員会設立	平成21年	川島循環器クリニック 冠動脈CT装置導入 川島病院 MRI装置導入
平成8年	5月 ケアハウス「あすか」開設 デイケアセンター開設	平成22年	6月 医療法人川島会・医療法人川島クリニック合併 9月 川島病院・川島循環器クリニック統廃合 一般病床123床
平成9年	在宅介護支援センター開設	平成23年	6月 脇町川島クリニック開院 8月 グリーンライトレーザー手術開始
平成10年	6月 川島循環器クリニック開設 オーダーリングシステム導入	平成25年	1月 医療法人川島会 社会医療法人化 4月 消化器内科診療開始

市民公開講座

→16ページ

平成23年から年1回行っています。生活習慣病である、腎臓病心臓病糖尿病などについて医師が講師を務めわかりやすく解説します。理学療法士による体操なども交え楽しい内容になっており、毎年受講された方に好評です。



健康・福祉フェスタ

→28ページ

平成10年から毎年秋に健康・福祉フェスタを開催。健康相談、ゲームコーナー、まんぷくコーナー、抽選会など楽しいイベントを行い地域の方々と交流しています。



震災対策

→40ページ

大地震に備えるために年1回病院職員や地域住民などの方々に研修会を実施しています。病院では実際に患者さんに参加していただき火事や地震の際の避難訓練を実施しています。また大規模災害時には地域住民を受け入れる避難場所として活用します。



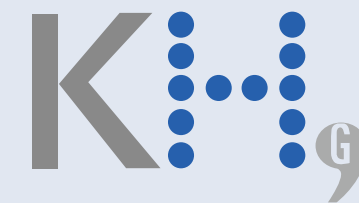
へき地医療

→24ページ

平成23年5月より三好市国民健康保険西祖谷山村診療所と美馬市国民健康保険木屋平診療所に川島病院から医師を派遣しています。



島 健二名誉院長によるへき地医療支援



第3回

川島病院 市民公開講座

第3回社会医療法人川島会川島病院市民公開講座「肥満は万病のもと」(同会、徳島新聞社主催)が6月30日、徳島市のホテルクレメント徳島で開かれた。

特別講演では慶応義塾大学医学部の伊藤裕教授が内臓脂肪型肥満からメタボリックシンドロームが進行し、さまざまな生活習慣病がドミノ倒しのように起こってくるメタボリックドミノという概念について解説。引き続き川島病院の専門医が生活習慣病の予防方法、早期発見と対処法についてわかりやすく説明した。講演と質疑応答の要旨を紹介する。

生活習慣に関連する疾患は、今や日本人の死亡原因の約3分の2を占めるといわれている。生活習慣病の代表的なものは糖尿病、腎臓病、狭心症や心筋梗塞など。肥満は生活習慣病の主要な危険因子であり、その中でも特に内臓に脂肪がつく内臓脂肪型肥満が、生活習慣病に関係が深いことが分かっている。本講座を通じて、メタボリックシンドロームと生活習慣病について知識を深めて、生活習慣を改善することで将来の病気を予防してほしい。

院長あいさつ



座長・水口 潤
(川島病院院長)

当病院は本年1月に社会医療法人に移行した。今後もこのような公開講座を通じて医療情報をわかりやすく提供するほか、防災やへき地医療など医療分野における社会貢献に取り組んでいきたい。

理事長あいさつ



理事長・川島 周
(社会医療法人川島会理事長)

メタボリックシンドロームが生活習慣病を引き起こすことはよく知られているが、肥満人口はまだまだ増加の二途をたどっており、生活習慣病の方やその予備軍と考えられる方も増えている。本日の講座を皆さんの今後の健康にぜひお役立ていただきたい。

肥満からメタボリックシンドロームになると、時間の経過とともに動脈硬化や慢性腎臓病、糖尿病、脳血管障害や心臓病などさまざまな病気が、一生のうちでドミノ倒しのように起こってくる。この一連の流れを「メタボリックドミノ」という言葉で呼んでいる。ドミノの総崩れを防ぐために、初期の段階で自分がド



伊藤 裕氏
慶應義塾大学医学部
腎臓内分泌代謝内科 教授

特別
講演

健康になる
『内臓さん』との
つきあい方
ー内臓脂肪と
メタボリックドミノー

ミノのどの段階にいるのかを確認し、将来の病気の予防に努めることが重要だ。
人間は血管とともに老いるといわれているが、私たちの体内で一番血液を使っているのが腎臓と腸であり、体の中で最も老いやすい。最近、慢性腎臓病（CKD）という病気が注目されている。高血圧や糖尿病などが原因で、腎臓の機能が6割程度になってしまう病気。メタボの人がCKDになる確率は高く、CKDの人は将来的に透析を受ける確率が高くなる。CKDを放置していると、心不全や脳卒中になる確率も高くなることが分かっている。
なぜ肥満になるといような病気が起こってくるのか。内臓脂肪が蓄積すると脂肪細胞は大型化してくる。大型の脂肪細胞こそがメタボの元凶ともいえる。悪玉脂肪細胞となり、高血圧、糖尿病、脂質異常症を引き起こすホルモンをたくさん分泌しているような病気を発症させる。
皮下脂肪と内臓脂肪を比べると内臓脂肪の方が炎症を起こしやすい。それは内臓脂肪が腸の周りにあることが

関係している。食べ過ぎると腸が異物を消化吸収しきれず、腸管の炎症が起こり、腸の周囲にある内臓脂肪の炎症、悪玉化につながるのではないかと考えられている。
腸を大事にすることこそ、全身の健康維持につながる。腸管の中には100兆個にも及ぶ、いわゆる腸内細菌が住み着いている。その種類は人それぞれ異なり、腸内細菌が私たちの太りやすさに関係しているという説もある。内臓脂肪の炎症と腸内細菌にも関連があると考えられる。食生活などで善玉の腸内細菌を増やし、腸内環境を整えるように心掛けてほしい。

私たちの若さの源は体内のミトコンドリアである。ミトコンドリアが生きたエネルギーを生み出し、そのエネルギーを全身の臓器に供給する。ミトコンドリアを鍛えるための2つの要素はカロリー制限と運動。腹八分目と空腹の時間を持つこと、隣の人と二言三言の会話がでるようなペースの有酸素運動と筋トレなどをおすすめしたい。



野間 喜彦
(川島病院糖尿病科部長)

総合
進行

メタボリック
シンドロームからおこる
生活習慣病への対応

メタボリックドミノのどの段階にいるかを知ることが重要で、生活習慣病を発症していないか検証し対応する必要がある。当院専門医による生活習慣病の発見と対応に関する講演を今後の参考にしてほしい。徳島県は糖尿病死亡率ワースト一を継続中である。食事・運動療法、生活習慣改善にはげみ治療を継続することで、生活習慣病でも長生きしてハッピーライフをおくってほしい。



「肥満は万病のもと」





になる。狭心症は労作時に感じる胸が締め付けられるような痛みや息苦しさ
が数分から10分程度続く。心筋梗塞は
激しい胸の痛みや吐き気など狭心症よ
りも強い症状が長く続く。糖尿病の人
や高齢者は症状が出にくいので注意し
てほしい。

これらの病気は心電図や心エコーな
どの検査を行い、虚血性心疾患がさら
に疑わしいと判断される場合には、心
臓カテーテル検査で血管の状態を評価
して必要な治療を行う。検査方法の中
でも冠動脈CT検査は初期のプラーク
（血管に沈着したカス）まで把握できる
ため、早期に生活習慣を改善するきつ
かけにもなる。

冠動脈にかかわる病気は動脈硬化が
原因であることから、高血圧、糖尿病、
高コレステロール、家族歴、喫煙、ストレ
スなどを改善することが予防につなが
る。

状態であるが、①将来糖尿病になりや
すい、②動脈硬化がこの段階から進行
するため、油断は禁物である。

糖尿病や予備群の診断は血液検査
（血糖値や血糖の平均値をみるヘモグロ
ビン・エーワンシー）で行う。特定健診や
職場の健康診断を受けて、早期発見に
努めてほしい。

糖尿病予備群といわれたら、動脈硬
化による病気（狭心症、心筋梗塞、脳卒
中など）がないかチェックを受け、3〜6
カ月毎に血糖値を調べてほしい。同時に
生活習慣の改善（食事、運動、飲酒習慣
の是正や禁煙など）と肥満の解消に取
り組み、脂質や血圧も管理して、動脈
硬化が進行しないようにしたい。

糖尿病の場合、症状や治療の有無に
かわらず必ず定期的に受診するこ
と。ヘモグロビン・エーワンシーが7%を超
えないようにコントロールして合併症を
予防する。

に移行する患者さんの数が年々増え続
けているのが現状だ。

慢性腎臓病の重症度は発症したも
ともの原疾患や腎機能、尿タンパクの
項目で評価するが、腎機能は1〜5の
段階に分ける。以前は腎臓病になると
安静が大事だといわれていたが、現在の
診療ガイドラインでは体に負担がなけ
れば安静を強いる必要はないとしてい
る。ただし個々の患者さんの状態によっ
て運動量は調節する必要がある。肥満
は末期腎不全に至るリスクが高まるの
で改善しなければならない。

食生活では水分の過剰摂取や極端な
制限をする必要はない。塩分の取りす
ぎは高血圧や浮腫につながりやすいの
で1日3g以上6g未満にとどめるこ
と。重症度に応じてタンパク質の摂取制
限も出てくる。アルコールはエタノール量
として男性20〜30ml、女性は10〜20ml
を上限とすること。

続いて糖尿病が悪化する。一方、糖尿病
が重症になると、だ液の分泌量が減る
ことで、歯周病にかかりやすく、進行し
やすくなる。歯周病を治療すれば糖尿
病が改善することもあるので、患者さ
んはぜひ歯周病治療もしっかり行っ
てほしい。

歯周病は心臓病や腎臓病にも関連
している。歯周病の原因菌が動脈硬化
や狭心症の発症に関係しているとの報
告があるほか、カルシウム拮抗剤（降圧
剤）などの服用による副作用で歯周病
が進行することもある。また腎機能低
下でカルシウムを体内に吸収させるピタ
ミン産生の機能が低下し、歯を支える
骨に影響が出てくる場合もある。

歯を失う一番の原因は歯周病であ
り、歯周病が進行すると病気の治療
（特に食事療法）に影響してくる。病気
が重症化すると歯の治療そのものが難
しくなるケースもあるので定期的に歯
科健診を受けてほしい。

狭心症は動脈硬化などで冠動脈が
狭まり、一時的に血流が不足して起こ
る。心筋梗塞は冠動脈が血栓などで詰
まり、心筋に酸素や栄養がいかなくな
り、放置すると心筋の一部が死んだ状態

糖尿病は慢性的に血糖値が高くな
る病気で、初期には自覚症状がないが、
血糖値をコントロールしておかないと合
併症が進行する。

糖尿病予備群は糖尿病の二歩手前の

糖尿病や高血圧などの生活習慣病
から発症する慢性腎臓病の患者さんが
増えている。慢性腎臓病になると末期
腎不全や心血管疾患のリスクが高くな
る。最近では末期腎不全から人工透析

歯周病と糖尿病は相互に悪影響を
及ぼし合っている。体に感染などの炎症
（歯周炎など）が起きると脂肪組織か
らインスリンの働きを抑える物質が産
生される。すると血糖値が高い状態が



木村 建彦
(川島病院診療部長)



小松 まち子
(川島病院糖尿病科部長)



川原 和彦
(川島病院腎臓内科部長)



川島 友一郎
(川島病院歯科医師)

狭心症・心筋梗塞の 発見と対応

講演
①

糖尿病、糖尿病予備軍の 早期発見と対応

講演
②

慢性腎臓病の 早期発見と対応

講演
③

歯の健康と メタボリック シンドローム

講演
④



- ◆開会あいさつ
川島 周(社会医療法人川島会 理事長)
- ◆座長あいさつ
水口 潤(川島病院 院長)
- ◆特別講演
「健康になる『内臓さん』とのつきあい方
ー内臓脂肪とメタボリックドミノー」
慶応義塾大学 医学部
腎臓内分泌代謝内科
教授 伊藤 裕 氏
- ◆休憩／ストレッチ
大石 晃久
(川島病院リハビリ室主任理学療法士)
- ◆講演
「メタボリックシンドロームからおこる
生活習慣病への対応」
総合進行 野間 喜彦(川島病院 糖尿病
科部長)
- ◆①狭心症・心筋梗塞の発見と対応
木村 建彦(川島病院 診療部長)
- ◆②糖尿病、糖尿病予備軍の
早期発見と対応
小松 まち子(川島病院 糖尿病科部長)
- ◆③慢性腎臓病の早期発見と対応
川原 和彦(川島病院 腎臓内科部長)
- ◆④歯の健康とメタボリックシンドローム
川島 友一郎(川島病院 歯科医師)
- ◆事例報告
「新しい前立腺肥大症
レーザー手術のご紹介」
西谷 真明(川島病院 泌尿器科部長)
- ◆質疑応答
- ◆閉会



Let's 運動!

大石 晃久

(川島病院リハビリ室主任理学療法士)

生活習慣病に対する運動療法は、自身自身の体(体力・病態)に合わせて運動量を調整しやすいものを選び、最初は軽めの運動から始め、徐々に運動(種類・強度・時間・頻度)を増やしていく事が、効果的な運動を無理なく継続していくポイントになります。歩く事を基本としても、もし天候・病態などで歩行ができない場合は、家屋内での運動(ストレッチ 筋力トレーニング 体操など)を行うなどして、生活の中に運動が習慣化されたものになるよう心がけましょう。また、万歩計で1日の活動量をチェックするのもよいでしょう。



前立腺肥大症は前立腺が肥大して尿道を圧迫し、排尿障害をきたす男性特有の病気。最近では体に負担の少ない手術治療として、グリーンライトレーザー治療が普及してきている。レーザー



西谷 真明

(川島病院泌尿器科部長)

治療の特徴は①出血が少ない②体への負担が少ない③通常は圧迫止血の必要はなく短期間でカテーテルが抜ける、といった点が上げられる。これまで行われてきた標準的な手術である経尿道的前立腺切除術と比べて治療成績もそんななく、入院期間も4〜5日と短い。当院ではこれまでに17件の手術実績がある。術後に退院可能となるまでの期間は平均2・6日で、術後の合併症は若干の血尿や排尿時の痛みなど。レーザー治療後は患者さんの排尿に関する不満度が術前に比べて減少しており、生活の質が向上していることが分かった。尿の出る勢いや排尿量についても薬物療法に比べて改善度が高い。レーザー治療は保険適応となっているので、治療に関してお悩みの方は一度相談していただきたい。

質疑応答

参加者から寄せられた質問に対して講演者がそれぞれ回答した。司会者は水口院長が務めた。内容は次の通り。

Q: どんな症状があれば心筋梗塞を考えるといいのでしょうか。

(木村)多くの心筋梗塞はある日突然起るわけではなく、血栓が詰まりかけて、また流れて血流が回復する不安定狭心症の時期を経て起こる。今までも狭心症の症状が強くなった、ニトコが効かなくなった、安静時でも発作が起こるといった場合は早く受診してほしい。

Q: 糖尿病ですが間食がやめられません。塩気のあるせんべいと糖分の多いお菓子ではどちらが体に良いのでしょうか。

(小松)どちらが良いとはいえない。間食をしても良いか、またその量について主治医に相談しておくこと。食べる場合は①食べるタイミング(就寝前は避けるなど)②カロリーや糖質の多い食品は避ける③間食を含めて1日の指示カロリー内に抑えること、に気をつけてほしい。

Q: 慢性腎臓病で加療中です。日常生活の過ごし方について教えてください。

(川原)日常生活に特に制限はなく、散歩や旅行なども大丈夫。ただ旅先などで初

めの医療機関にかかる場合は腎臓病に至った元の原疾患や服用中の薬について説明できるようにしておくこと。

Q: 歯周病を指摘されたことがあります。定期的に受診していますが、歯磨き以外に家庭でできる「特効薬」はありますか。

(川島友二郎)残念ながら歯周病を完治させる薬はない。歯科で定期的に歯のクリーニングしてもらうほか、正しいブラッシング法の歯磨きとケアを継続することが治療の基本になる。

(以上)





県下の医師不足地域への診療支援

(海部病院、上那賀病院、三好病院)

~川島会にできること~ 宮 恵子 内科部長

「上那賀病院の応援について」

上那賀病院の日曜日の診療については、これまで県医師会地域医療支援委員会を代表して、川島周理事長が応援してきました。

社会医療法人川島会所属の医師もその趣旨に賛同して、それぞれ個人として応援していくこととなりました。

このたび、その第1号として2013年6月23日(日)に宮恵子医師が応援に出向きました。今後は偶数月第4日曜日に交替で、賛同医師が出向くことになります。

宮先生「ひとこと」

山の天辺が近づいたところ、立派な病院が現れました。鬼頭院長と事務長さんが先頭になって、丹生谷二帯の命を支えておられる皆です。診察を助けて下さった看護師さん、膝関節損傷を受けてくださった徳島日赤病院さん、ありがとうございます。患者さんからの「日曜日のにこ苦勞さん。済まんなあ。おおきに」に、ほのぼのとして帰途につきました。

川島会は社会医療法人となり、徳島県のへき地医療対策の一端を担っていくことになりました。川島会と相手方の市とが契約をして、診療を行っています。現在、木屋平村と三好市への診療支援が主なものであり、西祖谷山村診療所(三好市)において、島名誉院長(月曜日)と宮永医師(火曜日)が診療を行っています。



2012-2013

Photo Report

写真で見る川島ホスピタルグループ行事



■ 健康・福祉フェスタ… 2012.11

■ 慰安旅行

・パリ …… 2013.4-5

・ハワイ …… 2013.5

・東京 …… 2012.9

・大阪 …… 2012.10

■ とくしまマラソン …… 2013.4

■ 阿波踊り …… 2013.8

■ バーベキュー …… 2013.7

■ 地域連携懇親会 …… 2013.8

BEST SHOT

今年の1枚

写真・川島 周



昨年の連休にまたイタリアに行きました。
シシリアでしたが、ホテルで
紹介してもらった近所のレストランは
独特な風味があつて
何とも言えない良い店でした。
その帰り道でこの親子連れに会いました。
父親はブラックスーツで、
渋い顔をした伊達男でした。
まさかマフィアではないかと思いつつ、
子煩悩な後姿を写しました。
結構暗かったです、
カメラの進歩に感謝しています。

川島 周



オープニングでは力強い和太鼓の演奏が披露されました

ぜんざい・フランクフルトなど
様々な模擬店が出店しました



AED講習・救急処置模擬実演も行われました



理事長先生・水口院長先生の餅つきの様子です



来場された方の健康相談を受けるコーナーもあります



職員による模擬店も行われました



恒例のお楽しみ抽選会の様子です

Health & Welfare FESTA

健康・福祉フェスタ

広報委員／小川 昌平

今回で、15回目の開催となるKH G健康福祉フェスタ（2012年11月11日）。例年フェスタの日は快晴だったのですが、今回は初の雨でした。小雨の中病院のスタッフは準備を進めていたのですが次第に雨も強くなり開催が危ぶまれました。色々と準備していた模擬店は半分以上施行できなくなりましたがフェスタは決行されました。

川島理事長の挨拶でフェスタが始まりました。

まず始めに、津田まつり太鼓の皆さんによる和太鼓。力強い太鼓の音は雨の中でも響きわたっていました。

次に子供たちに人気の戦隊ショー。今回は蒼竜神マヴェルが川島病院にやってきてくれました。笑いあり、笑いありのショーは大人がみても楽しめました。

また田岡病院院長、吉岡先生指導のもと、徳島消防署の方々の協力を得てAED講習と救急処置についての講習がありました。緊急時になるとわかっていても動けなくなることがあります。そういったことがないように再度確認する意味でも職員や外からフェスタにきていた皆さんは真剣に講習を受けていたと思います。



川島周理事長挨拶

方々の目はくき付けになっていたようです。

その後もブルーリバーズ鼓笛隊による演奏や、文理大学生によるよさこいなども行われました。

恒例の餅つきも小雨のなか理事長や水口院長をはじめたくさんの方々の協力のもと行なわれ、今年もお餅は完売しました。

二方院内では職員による健康診断相談、フリーマーケット、スタンプラリーなどが行なわれていました。外が雨だったのもあって、院内にたくさんのお客さんが来られ、大賑わいでした。

今年度は雨の中での開催で予定されていた全てのものが出来たわけではありませんが、たくさんの方の協力のもと苦労が多かった分、やりとげた喜びは大きかったと思います。

これからもずっとこの健康福祉フェスタが続けられるよう職員一同病院を盛り上げていきたいと思っています。

今年は、11月10日に開催します。

Hawaii



H25年度慰安旅行
ハワイ
1班 5/9~5/13
2班 5/16~5/20



H24年度慰安旅行
東京ディズニーランド
2012/9/9~11
日帰りUSJ
2012/10/28



広報委員／麻 裕文

麻 裕文

初フランスの旅は言葉が通じることが不安と美味しいもの食べるぞ!!綺麗な建物を観に行くぞって期待で胸一杯でした。
朝5時に徳島を出発して到着したパリです。一番に感動したのは、まるで中世の街に降り立ったのではないかと驚くくらい美しくレトロな町並みが目に入ってきたときでした。
初日は旅行者全員でのディナー。普段は

あまり交流のない部署の方とお話ができたり、ちょっぴり怖かった先輩とも仲良く食事をする事で親睦を深めていけたと思います。
滞在中はエスカルゴや鴨肉を食べ、ルーブル美術館でモナリザを鑑賞し、モン・サン・ミッシェルやベルサイユ宮殿で歴史や文化に触れていました。
とても勉強にもなり充実した4泊6日の慰安旅行でした。

Consolation Travel 慰安旅行

KHGでは二年ごとに目的地を変更し海外・国内の慰安旅行に行っております。前年度と今年度、海外はフランスとハワイ、国内は東京と大阪でした。毎年、多くの職員が参加をしています。



H25年度慰安旅行
パリ
1班 4/17~22
2班 4/24~29



とくしまマラソン Tokushima Marathon

とくしまマラソンとは、毎年4月下旬の日曜日に徳島県と徳島市が開催する、四国最大規模のフルマラソンです。
全国ランニング大会百選に選定されています。

マラソンはずっとひとりで行くものだと思っていた。
わいてくる力の量や質は、
筋力や肺活量、どれだけ練習したかとか、事前の細かな備えに、
多くは由来するのだらう。

でも走ってみてわかったことがある
それは

“川島病院”のゼッケンをつけて走るということ。
沿道のひとびとの中に、ふいに見える見知った患者さんの顔
職員の人たちの見守るようなまなざし

遊走会の仲間の息のリズムや、ひきしまった横顔、
ぶれない背すじ

走らないとわからなかった

がんばるときは ひとりです。

でもその喜びは多くの人がくれました。



麻裕文 (臨床工学技士)

今年の徳島マラソンは天候にも恵まれ、最高のマラソン日和でした。
最初の16kmまでは、CE萩原主任が引っ張ってくれ、折り返し地点では総務の三好さん夫妻に激励され、39kmまでは安田技師に負けるものかと頑張って、高橋尚子さんとハイタッチをしてゴールしました。心が折れそうになるたびに、「川島病院がんばれ!!!」と患者さんやご家族の方、職員、沿道の皆様からの篤い応援により我が身を鼓舞することができ、次の一歩に進む勇気と活力になりました。
マラソンというと一人で走る印象があると思うのですが、42.195kmを完走できたのは応援してくれた皆様と共に支えてくださったKHG職員の皆様のおかげです。



松浦香織 (管理栄養士)

無事完走、リベンジ達成できました!
後半苦しかったですが、沿道からの応援にパワーをもらいました。
美味しい物も食べ楽しいマラソンになりました。
一緒に練習してくれた遊走会の皆さん、応援して下さいました皆さん、ありがとうございました

三好妙 (総務)

今回2度目のフルマラソンでしたが、練習不足過ぎてスタート直後からキツかったです。
また出場する機会があれば、次こそは万全の状態で開催してみたいです。
フルマラソンに出てみたいけど無理そうだな、と躊躇している方には、私のように、気負わず楽しむつもりで是非トライしていただきたいです。

萩原雄一 (臨床工学技士)

絶対?のマラソン日和(風がキツイ)、無事に完走。
沿道のおいしいものほぼ完食!!
おいしかったです

藤元圭一 (総務)

今回は練習不足で完走が精いっぱいと思っていましたが沿道の皆さんの応援で自己ベストが出ました。
今まで手抜きだったのでしょうか?(<'ε'>)ありがとうございました

猪龍浩司 (放射線技師)

今年はまいち体調不良で練習できていないのに5時間切れてラッキーでした。
それにしても20キロ過ぎてからは足が動かなくなってしまったのは自分でも驚きました

細谷陽子 (臨床工学技士)

沿道の応援がものすごく力になりました。
ありがとうございました。

多田浩章 (臨床検査技師)

今回、練習不足でしたがBest time達成できました。
沿道の応援や練習に付き合ってくれた遊走会の皆様ありがとうございました。
沿道のおいしいものは、タイムが遅く念願の【そば糰子】は終了でした。

露口達也 (臨床工学技士)

来年こそ4時間切り!
毎年言うてますが

安田健三 (放射線技師)

逆風のなか、長蛇のマラソン列が遥かに。一瞬まわりの音が消える空間を体験しました。
これってランナーズハイ?

佐藤裕子 (看護師)

自己新を更新することはできませんでしたが、応援団の皆様にも励まされ、最後まで走りきることができました!!
途中でQちゃんに「股関節が痛い〜」って泣きついてハイタッチ!
なによりよかったのは、女子が全員完走できたことです

追記、

今年の川島病院遊走会は全員で徳島マラソン完走を目標にしておりました。

前大会は悪天候もあり完走できないメンバーもいました。そのこともあり今年は雨にも風にも負けない体力づくり精神づくりに重きを置いて練習に励んでおりました!!

大会の半年前からメンバー同士で声掛けをし、仕事が終わったアフターファイブから田宮の陸上競技場の外周を走ったり、毎週日曜日には徳島市から藍住町まで一周15kmを走っていました。

中には佐古の川島病院から板野インターまで往復するつわものもいました。

練習が終われば、このシューズがいい、このメーカーのインナーがいいなど情報交換をしたり、皆でご飯や温泉に行きました。

目標に向かって和気藹々と出来た事で練習が続いたのかもしれない。

ゆっくりではあるのですがKHGのマラソン人口も増え、徳島マラソン以外の大大会に参加するメンバーも増えております。



優雅な女踊り



勇壮な男踊り

また来年も
踊ろうね♪

徳島市内の阿波踊りは8月12日～15日に行われ、最近活気のない徳島の町も、この時ばかりは地鳴りのような音と共に息を吹き返したようでした。川島病院連は、最終日に藍場浜公園紺屋町の2つの桟敷で演舞しました。実際に踊ってみて、阿波踊りとは、奥深く、たまに阿呆（あほう）になって汗を流せる、心躍るものです。川島病院は、最高の医療を提供し続ける事はもちろん、また来年も、再来年も踊り込んでいきたいと思っています。

川島病院連



AWA ODORI 阿波踊り

徳島市の阿波踊りは8月12日～15日の4日間、わが川島会も“川島病院連”として参加しております。

(2011年発足) (娯茶平さんと一緒に参加)

広報委員／川島 友一郎

我々徳島県民にとって阿波踊りは、少々呆れるほど日常にあふれています。観光客のお出迎えの際に踊り、各種イベントでの余興はもちろん、学校でも体育の時間に習う事もあります。町に出れば、「阿波踊りからくり時計」なる時計があり、通行するとお囃子が演奏される橋もあります。最近ついに空港の名前にもなり、搭乗待合では踊り方の映像が流れています。それほど身近なものであっても、県民の多くの人にとって実際に踊る機会は、年1回あるかどうかではないでしょうか。

川島病院連は県内で、数少ない民間病院連です。結成されて今年で3年目。病院の年間行事の1つに過ぎないとはいえ、もはや新参者ではないと意気込みました。練習は例年より約2ヶ月早く開始し、娯茶平の連員の方々に、もう一度基礎から指導して頂きました。皆、踊れと言われるとそれなりにできるけれど、人様に見せるための形にするのはやはり難しいものです。

今年は川島病院阿波踊り実行委員会を立ち上げて挑むという、始動からスタッフの皆さんの頑張りによって、過去2年よりも多い100名での参加となりました。北は遠くカナダから、南は沖繩まで、グローバルなメンバー構成でした。



いっちに
いっちに♪



娯茶平の方々に指導を受けました

第4回 地域連携懇親会

今年で4回目となる川島病院地域連携懇親会が
2013年8月1日(木)にホテルグランドパレスにて開かれました。

患者さんを通じてお付き合いのある介護施設、病院、老人ホームの職員の方々と実際にお会いして歓談することができました。普段は電話やFaxで連絡をとりあいながら、互いの顔も知らないといったことも多いので、食事をしながら和やかな雰囲気、顔を見ながらの情報交換、また信頼を深める貴重な機会となりました。参加して下さったみなさんの職種もさまざま、作業療法士、介護支援専門員、老人ホーム営業の方、医療ソーシャルワーカー医師、社会福祉士、地域連携室の事務の方、移植コーディネーター、デイサービスセンターの相談員や介護職員の方々、管理栄養士など多岐にわたります。参加して下さったみなさん、ありがとうございました。また来年もお会いできますように

川島病院地域連携室



四国三郎の郷でのBBQ 7/7

美馬市にある四国三郎の郷にやってきました!緑に囲まれ大自然の中にそれはあります。川島病院では新入職員、在職中の職員、分院、また、その家族との親睦を深めることを目的にバーベキューをしています。みんなで協力して火を熾し、野菜を切るなど役割分担しながら、準備することで、自然と会話も生まれます。また、見渡す限りの広大な緑に囲まれた中での食事は格別に美味しかったです。



早く焼けないかな〜

協力して火を
起こしてまーす♪



みんなで食べるご飯は
すごくおいしい!!



スイカ割りに
挑戦!!



【感想】

普段はあまり、交流のない他部署の方々とも話をする事ができ、親睦を深めることができました。また、広々とした自然の中で心身共にリフレッシュすることができ業務にたいする意欲もより向上することができました。

今年のバーベキューでは家族連れでの参加が多く、子どもたちのおいしそうにお肉を食べる姿がみられました。自然の中で活発に動く子どもたちの姿は仕事の疲れを忘れるくらい元気いっぱいでした。

充実した楽しい時間を過ごすことができました。やはり、バーベキューは人数で賑やかにやるに限ります。

他部署との交流が少ない中、バーベキューを通じて関わる事ができ、大変有意義な時間でした。来年も参加したいです。

火がなかなか点かずに苦労しました。一人では無理でも、みんなで協力し無事に火を点けることができました。人と人との協力、また、役割分担が医療にも繋がるように感じました。

理学療法士

宮本 智彦



川島病院に理学療法士として入職されて6年目になる宮本さんを紹介します。

「好奇心いっぱいの子供のようなイメージがありますが？」

飽き症の新しい物好きなんです。少年？よく「独身ですか？」と聞かれますね。落ち着きがないんでしょうかね…

「まず、理学療法士とは？簡単に教えて下さい。」

理学療法士を一言でいうならば動作の専門家です。

患者さんが、寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの日常生活を行う上で基本となる動作の改善を支援する医学的リハビリテーションの専門職です。

「なるほど。では、理学療法士になって良かったと思える瞬間はどんな時ですか？」

良かったと思えるのは、患者さんと目標の達成感を共有できた時ですかね。



「そういえば最近、リハビリ前に新しいエクササイズを取り入れたと聞きますが、それはどんなエクササイズですか？」

シナフソロジーですね。今年、シナフソロジーインストラクターに認定されたので、職場で取り入れるようにしました。

最近では、入院の患者さんのリハビリ訓練前に体験してもらっています。

脳を活性化して、夜よく眠れるようになったとか、食事を全量摂取できるようになったなどの報告もあるんですよ。

認知症の方や物忘れが多くなったなど感じる方に、特に効果があるんです。

「具体的には、どういった事を行っているのですか？」

脳に新しい刺激(例えば、右手と左手で違う動作を行ったり、キャッチボールをしながら質問に答えるなど…)を入れて行くことで、集中力や判断力がアップしてリハビリの途中で眠ってしまいそうな方にも効果があります。良かったら体験してみますか？

「是非、お願いします!!」

「体験」



「すごい頭の中が混乱しましたけど、楽しかったです。非日常動作をすることで脳が混乱し、この時に脳の前頭葉が活性化されてリハビリ時の集中力が増すんですね。」
その通りです。失敗しても全然構わないんです。失敗して「あちゃー」と思う事が実は脳にとってはラッキーなんです。
頭の中が混乱した時に脳の中では、ほとんど細胞同士が繋がろうとするんです。それと手と口を同時に使う事で脳がより刺激されるため、声を出しながら行うのがポイントです。
体験したい方は僕に声をかけてくれてもいいですし、リハビリ室に気軽にお越しください。

「このシナフソロジー、いろんな場面で活用できそうですね。仕事以外でも使えそうですね、他にどんな場面で使っていますか？」
娘の新体操のチームや趣味で続けている阿波踊りの練習前によっています。

「阿波踊りされてるんですね。始められてもう長いんですか？」
中学生の時から始めて今年で22年になります。



「22年?! 凄いですね! きっかけは？」

子どもの頃から踊りたかったのですが、連に入る術を知らなくて、たまたま親の知り合いが今の連の連長で…。人の縁つてわかりませんね。で、そのまま阿波踊りにどっぷりハマってしまいました。

「22年間同じ連で踊ってるんですね。」

では、かなりのベテランさんじゃないですか？はい!! 今は副連長です!! (踊りはまだまだなんですけど…) ゼロからものをつくるのが好きで、阿波踊りの構成もやらせてもらっています。

「副連長?! 今年も、演舞場で踊り乱れるのでしょうか? 楽しみです。」

「ものをつくるのが好きで思い出しましたが、昨年の川島病院忘年会においても素晴らしいPVを作製していましたね!! あのPVは素人の域を越えてましたよ!! あれは、立派な特技と言ってもいいですね。」
いえいえ、本当に趣味レベルですよ (^-^)

友達の結婚式でも作ったことがあったので、年会でも少し変わったことをしたらうけるんじゃないかと思って…。好き勝手やらせてもらいました (笑)

「作るのすごく大変そう感じがしますが、PVを作るためのソフトがあるんですか？」

Adobeのヤッ使ってます。

「だいたい何日くらいかけて作るのですか？」

素材集めからすると何ヶ月もかかりますが、編集は1週間くらいですかね。やり始めると、止まらなくなつて気が付くと朝なんてこともさらですね (笑)

「PV視聴」

「ついつい映像に引き込まれて食い入るように見てしまいました (笑) プロですよ!! 私には絶対作れないです…」
そこまで誉められると変に照れてしまいます…。…ううっほいしますよ。

「阿波踊りの他には？」
実は、カメラにもハマってます…。主に風景を撮影しています。

「素敵な趣味ですね。お気に入りの場所や絶好の撮影スポットがあれば教えてください。」

特にここという場所はないんですが、徳島に住んでいて、少し走れば海も山も川もあるという環境がありがたいと思いますね。以前担当した患者さんの家族の方にもいろいろスポットを教えてくださいましたので、少しずつこれから足を伸ばしてみようと思っています。

「最後に、これからチャレンジしたい事や目標はありますか？」
将来、息子と富士登山をするのが今の夢です!!

「世界遺産にも登録されましたし、ぜひ実現できようがんばってください!!」
今回は、取材にお時間いただきましてありがとうございます。今後の宮本さんの活躍をより一層期待しております。



宮本 智彦

H13年3月 徳島医療福祉専門学校卒業
川島病院入職:H19年10月から
資格:理学療法士・シナフソロジーインストラクター
趣味・好きなもの:阿波踊り・写真・アンジェリーナジョリー♡



非常用設備の説明会

「毎年続けていくことの大切さと自発的な行動を」

～ 災害対策委員会より～

災害対策委員会による
勉強会として始めました。

常 日頃、職員のみなさんは、各部署
において、職務に励んでいるこ
とと思われま。しかしながら、災害時
の対応を考えながら日常の業務を行っ
ている職員は何人いるでしょうか。せめて、
自分の部署内、あるいは部署の近くにあ
る非常用設備などは、何をするものであ
り、どのように使つかは、自発的に知って
欲しいものです。とは言え、災害時の対
応が不十分であっても、日常の業務に支
障はありませんので、どうしてもおそ
かになってしまつのはやむを得ないこ
ろです。そこで、昨年より、災害対策委員
会による勉強会として、非常用設備の説
明会を開始しました。

ま ず、説明の対象となる非常用設
備(表1)を災害対策委員会に
て決定し、それぞれの設備に対して、災
害対策委員より説明担当者を割り当て
ました。説明担当者と言っても、各非常
用設備の使用については素人ですので、
当院・施設担当者が、使用法などにつ
き教えました。説明会当日は、職員が2つの
グループに分かれて、非常用設備を順番
に回ります(表2)。各説明担当者は、担
当場所にて待機し、回ってきた職員に説
明を行います。

さ らに説明会終了後に、出席者に
アンケートに記入していただく
とともに、年度末には、防災訓練に関し
て再度アンケート(＝簡単な小テスト)
も予定しています。



非常用遠隔操作器



第一駐車場のゲート開閉



自家発電機・ボイラー



重油



自動ドア・エレベーター操作



防潮板

表1 平成25年度 非常用設備の説明会について

・説明の開催日:

第1回 7月25日(木)、第2回 8月22日(木)、第3回9月26日(木)

・説明開始時間: 17時15分(病院正面玄関前に集合をお願いします。)

A グループ		B グループ	
非常用設備	説明担当者	非常用設備	説明担当者
①非常用食料と水	浜田	①衛星電話	奥尾
②第一駐車場のゲート開閉	工藤	②各電気系統のブレーカー	藤田
③非常用放送設備	福井	③非常用遠隔操作器	高原
③各設備の鍵	福井	③防災監視盤	高原
④重油	板東・榎本	④自家発電機・ボイラー	宮本
⑤非常用備品(外来)	小倉	あすか1階へ案内	
⑥自動ドア・エレベーターの操作	片山	(敬称略)	
⑦防潮板	中井		

1 病棟詰所へ案内



「昨年の出来事です。」

院 内のある場所で、火災報知器が
作動し、火災を知らせる放送が流
れました。しかしながら、幸いにも火災では
ありませんでしたので、特に被害はありま
ませんでした。ちなみに、火災ではないのに火
災報知器が作動したので、「誤作動と思わ
れるかもしれませんが、これは「誤作動」で
はありません。火災報知器周囲の気温が、
設定温度(60℃)に達したことにより火災報
知器が作動したので、あくまで「正常な作
動」であり、非火災時発報と呼ばれていま
す。ともかく、火災を知らせる放送が流れ
たわけですから、数人の患者さんは、院外へ
出ようとしたのですが、自動ドアが開かず、少
し混乱が生じたようです。

実 は、火災報知器とすべての自動ドア
は連動しており、火災報知器が作
動すると、自動ドアは動かなくなります。そ
のため、自動ドアの近くにある専用の電源
スイッチを切つて、手で自動ドアを開ける必
要があります。「火災報知器と自動ドアの連
動」については、当院の建物が建築された際
に、職員に通知されなかったのでしょうか。
それとも、当時の職員には説明されたもの
の、時の経過とともに、忘れたのでしょうか。
2年前に行われました防災訓練の際に、「自
動ドアの電源を切る」訓練もしました
ので一部の職員は知っていたと思われま
す。すれにせよ、「自動ドアの近くにあ
る専用の電源スイッチを切る」こと
は、簡単なことですが、全職員への再周知が
必要であると痛感した事例でした。



川島ホスピタルグループ 震災対策会議

今年で11年目の開催となりました。毎回、関連業者二十数社から約50名の参加を
頂いており、震災に関する講演を聞いたあとの親睦会は、
各社からアドバイスを得る良い機会となっています。

今年は徳島県危機管理部防災人材育成センター 課長補佐 佐藤彰二氏による
「南海トラフの巨大地震等に備えて」、
徳島県腎臓病協議会 会長 尾方良光氏より
「腎臓病(透析)患者の立場から」の講演が行われました。



第11回川島ホスピタルグループ震災対策会議

日時:平成25年3月14日(木)18:00～

場所:ホテルサンシャイン徳島アネックス

17:00 受付開始

18:00 挨拶 社会医療法人川島会 理事長 川島周



<講演会>

司会 松平敏秀

座長 川島病院副院長 土田健司

18:05 「南海トラフの巨大地震等に備えて」
徳島県危機管理部防災人材育成センター
課長補佐 佐藤彰二氏



19:10 「腎臓病(透析)患者の立場から」
徳島県腎臓病協議会
会長 尾方良光氏

質疑応答

<懇親会>

司会 松平敏秀

19:30 乾杯 北佐古1番町町内会の方
懇親

20:30 閉会



小規模災害を
想定しています。

みなさんご存じのように、大規模災害への備えが広く言われています。確かにそれは重要なことです

が「高さ30mの津波により当院が完全に水没した?」震度8の地震により当院建物が全壊した?」などの事態を想定(想像?)すると、その対策はどうするのでしょうか。少なくとも非常用設備は全く無用なものになります。震災直後においては、ひたすら逃げるだけであり、有効な対策はないように思います。ただ、発生頻度を推測すると、大規模災害より小規模災害のほうが多いかもしれません。当院で行っている非常用設備の説明会は、あくまで小規模災害を想定したものです。

非常用設備の説明会は同じ内容にて、年3回行いますので、職員のみならず、年3回行いますので、職員は参加できるものと思われま。説明者においては、使用方法などにつき十分に知った上で説明を行いますので、今後説明者を交代することにより、非常用設備につき熟知した職員が増えていくと思われます。また、職員の入れ替わりもありますので、毎年、非常用設備の説明会を行う予定です。このように、非常用設備につき、一部の職員のみならず、多くの職員に周知させることにより、小規模災害時に少しでも早い対応ができると期待しています。



非常用食料と水



防災監視盤



衛星電話



非常用備品



各電気系統とブレーカー



非常用放送設備



災害対策委員会・板東高志(歯科部長)



表2



模納幸子 看護師



美留(ミル)(11歳/♀)
●好きな物:かつお節
●嫌いな物:猫



希樹(キキ)(1歳/♀)
ものすごい低い声。
しかし、めったに鳴きません。



鈴(スズ)(5歳/♂)
子猫の時、川島病院に迷い込んでいたのを連れて帰りました。
とても臆病者です。



宇宙(ソラ)(8歳/♂)
食べる事が大好き。
オスだけど、みんなのお母さんの存在。
便秘が悩み…。

我が家の
アイドルです。



羽音(ウタ)(♀)



羽留(ハル)(もう少しで1歳/♂)
大きい目特徴です。
前田敦子に似てます!?



心(ココ)(もう少しで1歳/♂)
一番のやんちゃです。



咲良(サラ)(もう少しで1歳/♀)
男の子に負けないくらいの食欲です。



心,宇宙,咲良



宇宙,希樹



愛(ラブ)(7歳/♀)
家に来た時から、人間が苦手で外生活。
お腹が空いたら、鳴いて知らせます。



桃心,咲良,鈴



桃(モモ)(6歳/♀)
集団生活が嫌になったのか、
今は実家に避難。優雅に暮らしています。



咲良,羽留



咲良,希樹,羽音,心



宇宙,希樹2

Q さて、模納看護師の
ネコちゃんは、何匹いるの
でしょうか?(答えは45ページ下)

この子、誰のコ?



KHG職員のペットたちです 広報委員/藤田 諭

日下 まき 医師

去年より
太りました



みいちゃん&しいちゃん
左:みい(キジトラ/2歳/♂)
右:しい(シャム/4ヵ月/♀)



これでもネコ



舌はピンクである



8kgである

ペン(ベンガル/5歳/♂)
●嫌いな物:予防注射

多田 浩章 検査技師



マロン(トイプードル/1歳/♂)
●特技:ジャンプ

平野 春美 看護師



とにかく見つめる瞳と
行動に癒されています

リュック(ミニチュアダックスフンド/12歳/♂)
●好きな物:キュウリ以外なんでも
●嫌いな物:掃除機と雷の音
●特技:短足ジャンプ

松浦 香織 管理栄養士

1年前の
たま



たま(三毛/1歳/♀)
顔は八眉、体は水玉模様です。
模野さんちのココ・ハル・サラちゃんと
兄弟です!



ミント(ミックス/3歳/♂)
●好きな物:ねずみのおもちゃ
●嫌いな物:ブラッシング

水口隆先生に
譲ってもらいました!

藤田 豊子 クラーク

もー(ミニウサギ/♂)
●好きな物:いちご
●嫌いな物:お風呂
●特技:なでて〜って
甘えること



尾崎 孝一 相談・渉外室



マック(ウェルシュ・コーギー/12歳5ヵ月/♂)
みんなから、もういい年なのに落ち着きがないね〜。
なんて、言われています。どうぞよろしく!!

長田 真寿美 看護師

77(なな)(トイプードル/2歳/♀) ●好きな物:使用済みの靴下 ●好きなこと:お出かけ



小原宏代 看護助手



りんご(ネザーランド・ドワーフ/1歳11ヵ月/♀)
●好きな物:エン麦
●嫌いな物:生野菜

細谷陽子 臨床工学技士

サラダ菜
おいしい!

たると
(ネザーランド・
ドワーフ/1歳半/♂)
●好きな物:小松菜
●嫌いな物:いちご
●特技:二足歩行



なんか
くれるの?



あんこ(ネザーランド・ドワーフ/
1歳半/♂)
●好きな物:しそ
●特技:うるさくても寝れる
●年齢:1歳半



ちょこ
(ネザーランド・ドワーフ/
2歳3ヵ月/♂)
●好きな物:しそ
●特技:かみつ

早く離せ(怒)



仲良し親子!
あーもんとちょこは
小原さん家の
りんごちゃんと
親子です。

左)あーもんど(2歳3ヵ月/♀)
右)しろしっぽ(1歳半/♀)
ネザーランド・ドワーフ(共通)
●好きな物:くだもの(共通)
●特技:ごろごろすること(共通)

川島ホスピタルグループ 2012年資料編

プロフィール

医師・職員取得資格

医師・職員院外団体等役職

職員数

診療統計等

座長、司会等

治験、製造販売後臨床試験、疫学調査

広報委員／大西 美佐子

主たる行事／2012年9月～2013年8月

2012

9月

川島ホスピタルグループ広報誌10号発行
職員親睦旅行・国内(9月～10月)

10月

11月

第15回健康・福祉フェスタ

12月

忘年会



2013

1月

火災避難訓練



2月

3月

第11回川島ホスピタルグループ震災対策会議
KHG研究・活動テーマ発表会



4月

入職式
職員親睦旅行(4月～5月) とくしまマラソン

新入職員導入教育



5月

職員健診

6月

第3回市民公開講座

7月

職員親睦行事(バーベキュー)(ゴルフコンペ)



8月

第4回川島病院地域連携懇親会
川島病院連 阿波踊り参加

9月

9月 第5回川島病院病診連携会予定

川島 周	日本内科学会認定医、日本透析医学会専門医
島 健二	日本内科学会認定医、日本糖尿病学会研修指導医・専門医、日本老年医学会指導医
水口 潤	日本内科学会認定医、日本腎臓学会認定指導医・専門医、日本透析医学会指導医・認定専門医、日本臨床腎移植学会腎移植認定医
水口 隆	日本内科学会認定医・認定総合内科専門医、日本血液学会専門医、日本医師会認定産業医、介護支援専門者（ケアマネージャー）
林 郁郎	日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本神経学会専門医、日本医師会認定産業医
深田 義夫	日本循環器学会専門医、外科専門医、麻酔標榜医
西内 健	日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本高血圧学会指導医
土田 健司	日本透析医学会指導医・専門医、日本泌尿器科学会指導医・専門医、日本アフレシス学会専門医
木村 建彦	日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医
日下 まき	日本医学放射線学会放射線診断専門医
小松 まち子	日本内科学会認定医、日本糖尿病学会専門医・研修指導医、日本内分泌学会専門医、日本人間ドッグ学会認定医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、人間ドック健診情報管理指導士
板東 高志	日本口腔外科学会指導医・専門医、摂食介護支援プロジェクト 嚥下内視鏡検査マスター
橋詰 俊二	日本内科学会専門医、日本循環器学会専門医
西谷 真明	日本泌尿器科学会指導医・専門医、日本透析医学会専門医
野間 喜彦	日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会専門医、日本臨床検査医学会専門医、日本内科学会研修指導医
川島友一郎	摂食介護支援プロジェクト 嚥下内視鏡検査マスター
高森 信行	日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本心臓リハビリテーション学会認定リハビリテーション指導士、日本インターベーション治療学会指導医・専門医
宮 恵子	日本内科学会総合内科専門医、日本内分泌学会指導医・専門医、日本消化器病学会専門医、日本糖尿病学会専門医、日本甲状腺学会専門医、日本医師会認定産業医
長田 淳一	日本内科学会認定医、日本肝臓学会専門医、日本消化器学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医
川原 和彦	日本小児科学会専門医、日本腎臓学会専門医、日本透析学会専門医・指導医
横田 成司	日本泌尿器科学会専門医、日本透析学会専門医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
横田 綾	日本皮膚科学会専門医
大下 千鶴	日本糖尿病療養指導士
西分 延代	日本腹膜透析医学会指導看護師
三宅 直美	透析療法指導看護師、介護支援専門者（ケアマネージャー）
永田 眞美代	認定看護管理者セカンドレベル
有木 直美	日本腹膜透析医学会指導看護師
数藤 康代	五学会合同認定透析療法指導看護師
小谷 明子	日本腹膜透析医学会指導看護師、糖尿病療養指導士
小倉 加代子	日本糖尿病療養指導士、日本腹膜透析医学会指導看護師、五学会合同認定透析療法指導看護師
佐藤 裕子	日本糖尿病療養指導士
福寿 悦子	日本糖尿病療養指導士
近藤 郁	介護支援専門者（ケアマネージャー）、透析技術認定士、福祉住環境コーディネーター2級、救急救命士
近藤 恵	日本糖尿病療養指導士
酒井 紘子	日本糖尿病療養指導士、日本腹膜透析医学会指導看護師
福永 輝美	透析技術認定士
美馬 祐里	介護支援専門者（ケアマネージャー）
赤澤 正義	放射線管理士、日本放射線技師会アドバンスド放射線技師
久米 恵司	放射線管理士、日本放射線技師会アドバンスド放射線技師
猪龍 浩司	日本放射線技師会アドバンスド放射線技師

川島病院のプロフィール(2013年8月1日現在)

■標榜科目

内科、腎臓内科（人工透析・腎移植）、泌尿器科（人工透析・腎移植）、循環器内科、循環器外科、糖尿病内科、消化器内科、放射線科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科

■指定

救急告示、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、労災保険指定、自立支援医療機関（更生医療指定）、感染症法38条指定

■届出事項

一般入院基本料 10対1（DPC対象病院）、入院時食事療養(I)、救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算、診療録管理体制加算、医師事務作業補助体制加算、療養環境加算96床、重傷者等療養環境特別加算、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算、救急搬送患者地域連携受入加算、糖尿病合併症管理料、検体検査管理加算(I)、検体検査管理加算(II)、皮下連続式グルコース測定、画像診断管理加算2、CT撮影及びMRI撮影、冠動脈CT撮影加算、心臓MRI撮影加算、脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅲ)、運動器リハビリテーション料(Ⅱ)、エタノール局所注入(甲状腺)、エタノール局所注入(副甲状腺)、透析液水質確保加算2、医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、大動脈バルーンパンピング(IABP法)、体外衝撃波胆石破碎術、体外衝撃波尿管結石破碎術、同種死体腎移植術、生体腎移植術、クラウン・ブリッジ維持管理料、無菌性創処理科、感染防止対策加算2、患者サポート体制充実加算、データ提出加算、移植後患者指導管理料、糖尿病透析予防指導管理料、在宅血液透析指導管理料、時間内歩行試験、大腸CT撮影加算、心大血管疾患リハビリテーション料(I)、歯科外来診療環境体制加算、植込型心電図検査、植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術、がん治療連携指導料、ニコチン依存症管理料、医療機器安全管理料2、歯科治療総合医療管理料、夜間休日救急搬送医学管理料、薬剤管理指導料

■施設認定

（財）日本医療機能評価機構 認定（審査体制区分2 Ver.6.0）、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本透析医学会認定施設、日本腎臓学会研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連機関、特定非営利活動法人日本高血圧学会専門医認定施設、一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、特定非営利活動法人日本腹膜透析研究会教育研修医療機関、日本アフレシス学会認定施設、日本甲状腺学会認定専門医施設

■その他

地域病診連携室 TEL：088-631-1511 FAX：088-631-1541

鴨島川島クリニックのプロフィール(2013年8月1日現在)

■標榜科目

内科、人工透析内科

■指定

生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関（更生医療指定）、労災保険指定、感染症法38条指定

■届出事項

透析液水質確保加算2、明細書発行体制等加算

鳴門川島クリニックのプロフィール(2013年8月1日現在)

■標榜科目

内科、人工透析内科

■指定

生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関（更生医療指定）、労災保険指定、感染症法38条指定

■届出事項

透析液水質確保加算2、明細書発行体制等加算

脇町川島クリニックのプロフィール(2013年8月1日現在)

■標榜科目

内科、人工透析内科

■指定

生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関（更生医療指定）、労災保険指定、感染症法38条指定

■届出事項

透析液水質確保加算2、明細書発行体制等加算、在宅血液透析指導管理料



川島 周	徳島県医師会長、日本医師会理事、全日本病院協会常任理事、徳島大学医学部臨床教授、とくしま移植医療推進財団理事長、徳島県医師国民健康保険組合理事長
島 健二	徳島大学名誉教授、日本糖尿病学会名誉会員、日本臨床化学会名誉会員、日本病態栄養学会評議員、徳島県医師会糖尿病対策班顧問、徳島県保険者協議会顧問
水口 潤	徳島大学医学部臨床教授、日本移植学会評議員、日本腹膜透析研究会副理事長、日本透析医学会理事長、四国透析療法研究会副会長、徳島透析療法研究会会長、日本HDF研究会常任理事、NPO法人日本アクセス研究会幹事、バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会幹事、ハイパフォーマンスメンブレン研究会世話人、徳島透析医学会会長、日本臨床腎移植学会評議員
水口 隆	腎とエリスロポエチン研究会評議員幹事、日本鉄バイオサイエンス学会代議員
林 郁郎	日本循環器学会四国地方評議員
西内 健	徳島市医師会心電図判読委員会委員、日本循環器学会四国支部評議員
土田 健司	日本エンドトキシン研究会世話人、NPO法人日本HDF研究会評議員、バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会幹事、日本透析医学会評議員、NPO法人日本腹膜透析医学会評議員・監事、NPO法人日本アクセス研究会評議員、日本医工学治療学会評議員、徳島透析療法研究会幹事、徳島透析医会幹事、四国透析療法研究会幹事、二次性副甲状腺機能亢進症に対するPTX研究会世話人、在宅血液透析研究会幹事、徳島大学医学部臨床教授、高齢者腎不全研究会幹事、日本腎不全栄養研究会幹事
小松 まち子	徳島県医師会糖尿病対策班班員、徳島市医師会糖尿病対策委員会委員
野間 喜彦	日本内科学会四国支部評議員、日本臨床検査医学会中国四国支部評議員、日本糖尿病対策推進会議徳島県担当委員（日本糖尿病学会担当委員、日本糖尿病協会担当委員）、徳島県医師会糖尿病対策班班長、徳島大学医学部非常勤講師、日本糖尿病協会徳島県支部理事
宮 恵子	徳島市医師会女性医師プロジェクト委員
大下 千鶴	県立看護学院准看護学科専任教師、徳島CDEJ会世話役、徳島糖尿病看護研究会幹事
永田 眞美代	徳島腎不全看護研究会幹事
数藤 康代	徳島腎不全看護研究会幹事、徳島透析療法カンファレンス幹事
田尾 知浩	一般社団法人徳島県臨床工学技士会副会長
久米 恵司	徳島県放射線技師会理事、徳島核医学勉強会世話人会役員、日本放射線技師会徳島県支部理事、日本核医学技術会中四国部会理事、徳島CT研究会世話人
志内 敏郎	日本腎臓病薬物療法学会評議員、徳島腎と薬剤研究会事務局、徳島県病院薬剤師会理事
大石 晃久	徳島県心臓リハビリテーション研究会世話役
前田 さおり	日本障害者歯科学会四国地域障害者歯科医療推進協議会幹事

職員数 2013年4月1日現在注：（ ）内は2012年4月1日現在

■社会医療法人川島会 職員総数 381名(350)			
●常勤医師22名(21)	●歯科医師2名(2)	●非常勤医師47名(29)	●非常勤歯科医師3(2)
●看護師103名(96)	●准看護師15名(15)	●パート看護師2名(3)	●パート准看護師3名(5)
●看護助手61名(54)	●薬剤師11名(10)	●管理栄養士6名(6)	●臨床検査技師9名(8)
●放射線技師10名(9)	●臨床工学技士43名(39)	●理学療法士6名(3)	●歯科衛生士5名(3)
●歯科助手1名(1名)	●医事診療情報課25名(22)	●総務17名(17)	●クラーク18名(20)
●庶務18名(16)	●訪問介護員9名(8)		
■社会福祉法人飛鳥 職員総数37名(39)			
●施設長1名(1)	●管理者3名(3)	●介護支援専門職員5名(5)	●看護師3名(2)
●介護職員10名(13)	●生活相談員1名(2)	●栄養士1名(1)	●事務員1名(1)
●サービス提供責任者2名(2)	●訪問介護員9名(9)	●医療ソーシャルワーカー1名(0)	

谷 恵理奈	第一種放射線取扱主任者
足立 勝彦	医用画像情報管理士
浜田 久代	日本糖尿病療養指導士、病態栄養専門師
原 恵子	日本糖尿病療養指導士
森 恭子	日本糖尿病療養指導士
松浦 香織	日本糖尿病療養指導士
大西 嘉奈子	日本糖尿病療養指導士
志内 敏郎	医療安全管理者、第一種衛生管理者、認定実務実習指導薬剤師
田尾 知浩	透析技術認定士
播 一夫	透析技術認定士
原 俊夫	透析技術認定士
萩原 雄一	医療安全管理者
細谷 陽子	透析技術認定士、透析技能検定試験2級
廣瀬 大輔	透析技術認定士
数藤 敬一	透析技術認定士
清水 一郎	透析技術認定士
成瀬 裕深	透析技術認定士、透析液水質管理責任者
神村 久美	透析技術認定士
中野 正史	透析技術認定士
東根 直樹	透析技術認定士
英 理香	透析技術認定士、透析液水質管理責任者、3学会合同呼吸療養法認定士
来島 政広	透析技術認定士
森 浩章	透析技術認定士、透析液水質管理責任者
露口 達也	透析技術認定士、福祉住環境コーディネーター2級
道脇 宏行	透析技術認定士、透析液水質管理責任者
鎌田 優	透析技術認定士
田中 悠作	透析技術認定士
岡田 大佑	透析技術認定士、透析技能検定試験2級
相坂 佳彦	透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士
西内 陽子	透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士
中條 恵子	健康食品管理士
多田 浩章	超音波検査士
片山 悦子	超音波検査士
玉谷 高広	介護支援専門員(ケアマネジャー)、徳島県糖尿病療養指導士、健康ウォーキング指導士、公認ウォーキング指導者、福祉住環境コーディネーター2級、社会福祉主事
前田 さおり	嚙下トレーナー歯科衛生士、認定歯科衛生士(認定分野B：障害者)
高石 和子	嚙下トレーナー歯科衛生士
中川 順二	病院管理士
松平 敏秀	病院管理士
宮島 彰子	診療情報管理士、病院管理士
原 雅子	診療情報管理士、病院管理士
辰巳 奈月	診療情報管理士
佐川 裕基	診療情報管理士
三橋 一人	福祉住環境コーディネーター2級

外来患者延数 43,907名(40,335)

歯科患者延数 9,324(9,747)

入院患者延数 31,592名(31,405)

新入院患者数 川島病院1,622名(1,621)

血液透析患者数(3月31日現在)

川島病院	鴨島川島クリニック	鳴門川島クリニック
569名(585)	141名(142)	123名(121)
脇町川島クリニック	在宅透析	合計
64名(51)	1名(0)	898名(899)

●新規導入数 54名(56)

●延べ回数

川島病院	鴨島川島クリニック	合計
91,048回(94,899)	21,362回(22,189)	
鳴門川島クリニック	脇町川島クリニック	139,812回(140,703)
18,428回(18,106)	8,974回(5,509)	

腹膜透析(CAPD)患者数

●患者数／70名(71)(3月31日現在)

●新規導入数／18名(19)

腎移植患者数

●患者数／51名(49)(3月31日現在)

腎移植患者数

●消化器内視鏡／876件(808) ●CT／3,173件(2,999) ●冠動脈CT／354件(414)

●シャントアンギオPTA／217件(310) ●腎生検／41件(38) ●心カテPTCA／329件(343)

●RI／737件(706) うち紹介514件(540) ●MRI／928件(695) ●心エコー／2,210件(2,085)

●その他のエコー／1,065件(644) ●骨密度／771件(751) ●嚥下内視鏡／43件(52)

手術・処置件数

●手術総数／615件(578) ●結石破碎／延べ199件(161) ●シャントPTA／247件(333)

●PTCA／186件(191) ●ペースメーカー植え込み／18件(15)

栄養指導件数

●指導件数／3,332件(3,458)

島 健二	医療スタッフのための糖尿病セミナー 第9回国際糖尿病連合西太平洋地区会議	司会 座長	10月12日 11月27日
------	---	----------	------------------

水口 潤	徳島透析療法研究会 学術講演会	座長	1月12日
	第45回日本臨床腎移植学会 ランチョンセミナー	座長	2月2日
	徳島透析フットケア研究会	座長	2月21日
	第17回バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会 ワークショップ	座長	3月3日
	第27回ハイパフォーマンスメンブレン研究会	座長	3月10日
	徳島透析療法研究会 学術講演会	座長	4月3日
	徳島県医師会腎疾患対策委員会 市民公開講座	座長	5月18日
	第57回日本透析医学会学術集会		
	委員会企画	座長	6月22日
	シンポジウム	座長	6月23日
	ランチョンセミナー	座長	6月23日
	第2回川島病院市民公開講座	司会	7月1日
	徳島透析療法研究会 学術講演会	座長	7月5日
	第14回日本アクセス研究会セミナー 教育セミナー	座長	7月15日
	第21回日本腎不全外科研究会	座長	7月21日
	第18回日本腹膜透析医学会		
	ランチョンセミナー	座長	9月22日
	特別パネルディスカッション	座長	9月23日
	ランチョンセミナー	座長	9月23日
第16回日本アクセス研究会 ランチョンセミナー	座長	10月14日	
第42回日本腎臓学会西部学術集会	座長	10月27日	
徳島臓器移植フォーラム	座長	10月28日	
第43回徳島透析療法研究会 特別講演	座長	11月25日	

西内 健	徳島ATISセミナー 講演	座長	1月20日
	生活習慣病フォーラム 講演	座長	7月23日
	医療連携を考える会 講演	座長	7月11日
	第4回四国血管病治療研究会 一般演題	座長	7月28日
	徳島EPAフォーラム 講演	座長	11月14日
	第4回徳島心臓リハビリテーション研究会 一般演題	座長	12月7日

水口 隆	第57回日本透析医学会学術集会・総会 ポスター	座長	6月22日
	第5回慢性腎臓病病態研究会 貧血基礎	座長	7月28日

土田 健司	第17回バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会 一般演題	座長	3月3日
	第10回川島ホスピタルグループ震災対策会議 特別講演	座長	3月15日
	第57回(社)日本透析医学会学術集会・総会		
	一般演題	座長	6月22日
	よくわかるシリーズ	座長	6月24日
	第6回徳島PDネットワークセミナー PDの基礎	座長	7月22日
	第18回NPO法人日本HDF研究会 シンポジウム1	司会	9月9日
	第62回 日本泌尿器科学会中部総会 卒後教育プログラムセミナー	司会	11月3日
	第43回徳島透析療法研究会 一般演題	司会	11月25日

小松 まち子	第3回徳島糖尿病ジョイの会	座長	11月2日
--------	---------------	----	-------

野間 喜彦	DM Portfolio Meeting 実践的な経口糖尿病薬の使い分け	座長	1月20日
	糖尿病性腎症アップデートセミナー 教育講演	座長	6月29日
	ビクトーザ症例検討会	司会	7月9日
	徳島インクレチン研究会学術講演会	司会	8月31日
	第13回徳島西部糖尿病連携の会	座長	11月19日
	徳島県糖尿病トータルケア懇話会 ～食事・運動・薬物治療中断を防ぐために～	座長	11月29日
	第8回中四国糖尿病研修セミナー ランチョンセミナー	座長	12月2日
	トレシーバミニレクチャー	座長	12月12日

大下 千鶴	第57回日本透析医学会学術集会・総会		
	口演	座長	6月22日
	ポスター	座長	6月23日
	第18年日本腹膜透析医学会学術集会・総会 口演	座長	9月22日

西分 延代	第18回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 ワークショップ	司会	9月23日
-------	------------------------------	----	-------

志内 敏郎	第57回(社)日本透析医学会 学術集会・総会 一般演題	座長	6月22日
-------	-----------------------------	----	-------

原 恵子	第18回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 ポスターセッション	座長	9月22日
------	--------------------------------	----	-------

道脇 宏行	第18回日本腹膜透析医学会学術集会・総会	座長	9月23日
-------	----------------------	----	-------

岡田 和美	第57回(社)日本透析医学会学術集会・総会 ポスターセッション	座長	6月24日
-------	---------------------------------	----	-------



編集後記

川島会広報誌も今年で11号目となりましたが、一度、夜の川島病院の写真を載せてみたいと思っていました。正面玄関の上で、煌々と光るのは透析室3シフトの明かりです。編集のまとめや校正チェックなど、締切ぎりぎりの夜、ひとりPCに向かっていても3シフトが動いている限りは、何となく安心していられました。今年も「KHG2013」をお届けできますこと、ご協力くださったみなさん、そして3シフトの明かりに感謝しています。

広報委員長 日下 まき

■糖尿病教室

平成24年7月28日	「糖尿病について話し合おう」	医師・看護師・管理栄養士	参加者6名
平成24年11月9日	「糖尿病について話し合おう」	医師・看護師・管理栄養士	参加者8名
平成25年3月15日	「糖尿病について話し合おう」	医師・看護師・管理栄養士	参加者8名

■高血圧教室

平成24年4月27日	「減塩のコツ(外食)」	医師・看護師・管理栄養士	参加者14名
平成24年10月26日	「減塩のコツ(外食)」	医師・理学療法士・管理栄養士	参加者14名

■リハビリ件数

●個別／14,741件(11,757) ●消炎／247件(86) 合計／14,988件(11,843)

●ケアハウスあすか入居数	597件(591)
●デイサービス利用者数	7,101件(7,508)
●ヘルパーサービス利用者数	1,209件(1,248)
●支援センター居宅サービス計画件数	1,956件(1,843)
●介護タクシー利用者(延べ)	820件(904)

■治験

●川島病院 第Ⅲ相試験 4件

■製造販売後調査

●川島病院 14件